

フォークリフト年次点検(ガソリンカウンター)

2016/9/16

①スチーム洗浄+LLC交換(床が汚くなる為、洗浄と一緒にLLCも交換)



LLC給水口

②ジャッキUP

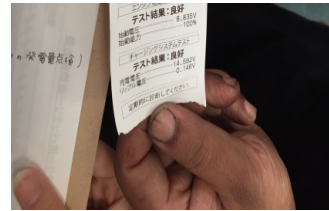
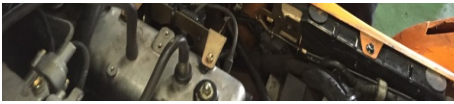


～エンジンルームの点検～

③バッテリー点検

※バッテリーの充電容量・オルタネータの発電量点検





④エンジンオイル・オイルエレメント・燃料フィルター交換

※オイルエレメントを装着するときは、スムーズに装着する為オイルを少し塗ること



燃料フィルター

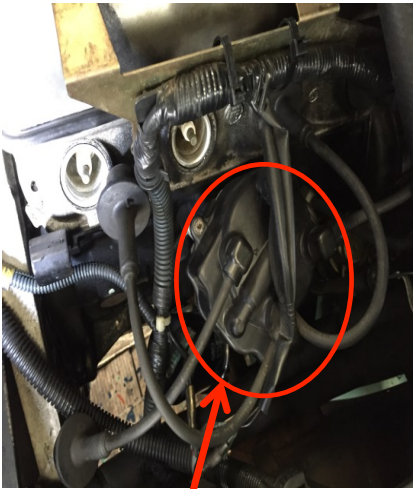
⑤フロントタイヤを外す(エンジンオイルを抜いているときに、作業する)

※リアタイヤは外さないで、ガタを見ること

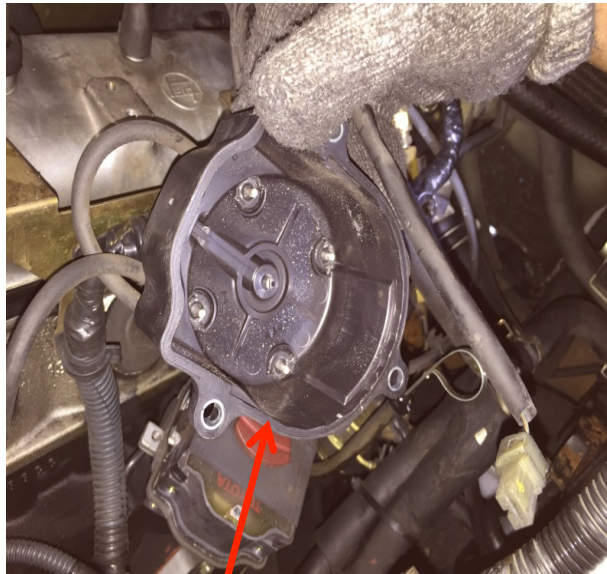


⑥ディストリビューターの点検

※水気がないか確認。エアブローで水気を飛ばす



ディストリビューター



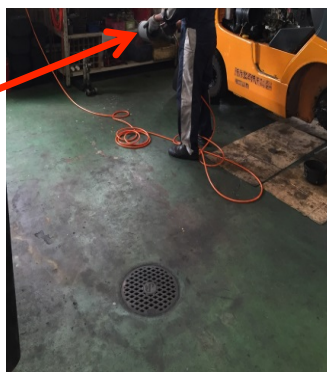
ディストリビューター裏面

⑦エアエレメント(エアクリーナー)の清掃

※エアブローで埃を飛ばす



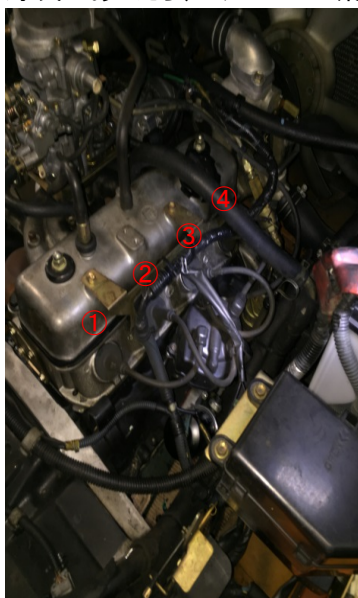
エアメント



⑧ベルトの張りチェック/ファンのガタチェック

⑨プラグの点検(4箇所)

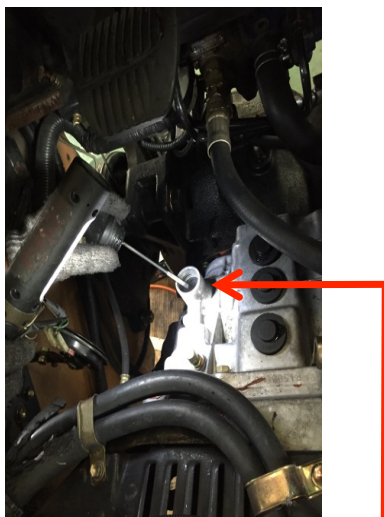
※水気があったら、エアブローで飛ばす



プラグ

⑩MTオイル点検/ギアオイル交換

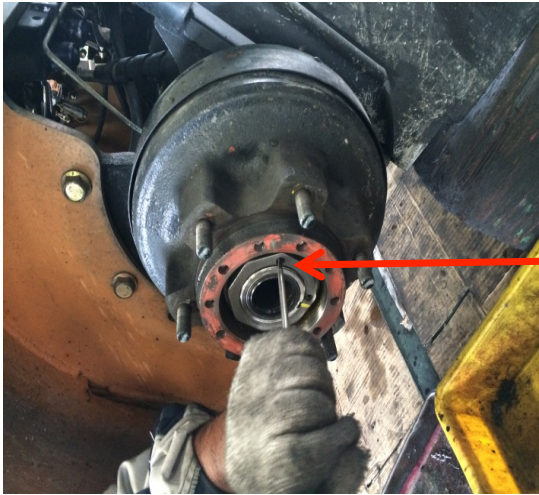
※MT/デフオイルはギアオイルのこと



※ギア廃オイル

MTオイル給水口

⑪ブレーキをばらす



小さいネジを割らないよう
注意しながらネジを外す



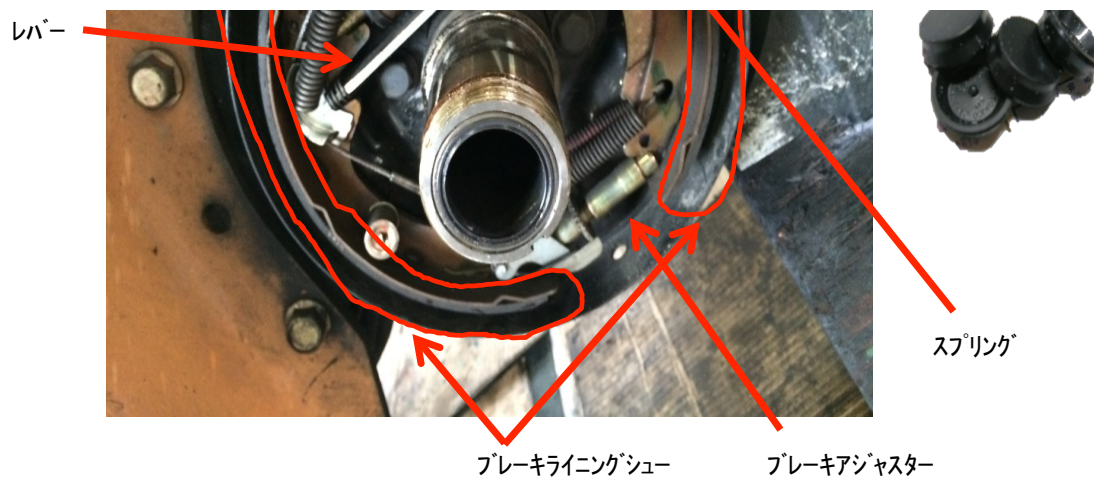
ベアリング

※ブレーキドラムの名称



ホイールシリンダー

中にカップキット



⑫ピストンの中のサビをとる



⑬シューが当たる箇所(8箇所)にグリスを塗る
※塗らないとキーキー音が鳴る為

⑭ブレーキアジャスター調整

⑮ブレーキを組みなおし、レバーのあそびを確認

⑯ブレーキ調整
※アジャスターを締め、下から3つくらい戻す

⑰シャフトシール交換

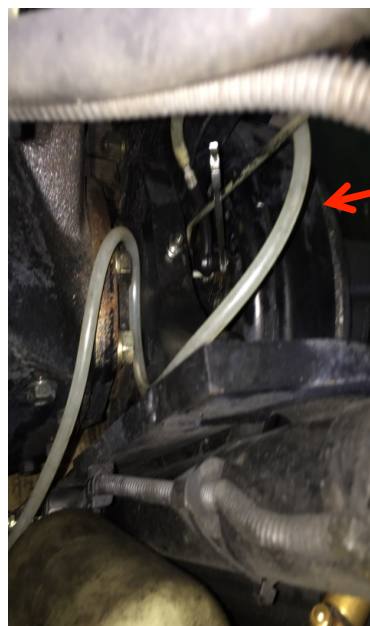
⑩ベアリングにグリスをつけ装着



⑪ブレーキオイル補充/ブレーキのエア抜き
※ブレーキペダルをチューブの中の気泡が無くなるまで、踏み続ける

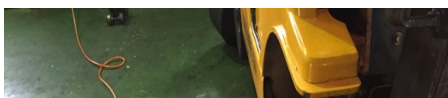


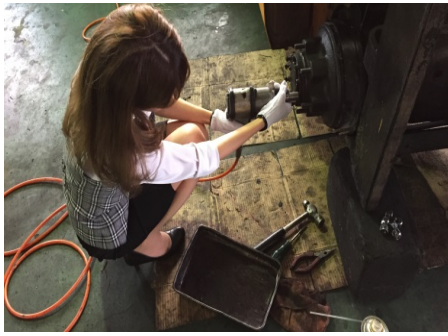
ブレーキオイル



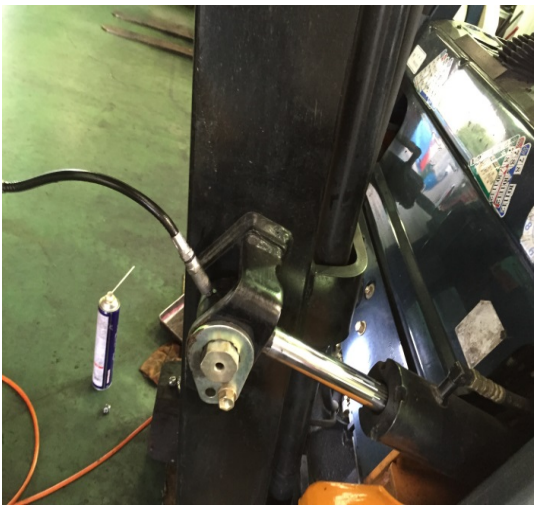
チューブ

⑫前回のシャフトパッキン(液体)を削ぎ落として、塗り直した後、ネジを装着





② 各部グリスUP



古いグリスが出てくる

② Fタイヤ取り付け

試運転をして、年次検査終了！